

回覧

「石神台ガーディアン」2023年7月報告

2023(令和5年)年7月20日
石神台ガーディアン代表 中野靖久
アドバイザー 小野修司

1) 団員数

昼間合同巡回実施者 :	28名
夜間合同巡回実施者 :	22名

以上のどれかの巡回をしている人数 :	50名
個人的に巡回している方56名、トータル105名(令和5年7月現在)	

※不審者、不審車を見掛けたら、直ぐに警察へ連絡を！電話 72-0110

自分で絶対に対処しようとしないでください！危険です！

昼間でも玄関の鍵、チェーン錠は掛けて、見知らぬ訪問者を家に入れてはダメ！

散歩されている方、黄色いコットンガーディアンTシャツ差し上げます。サイズM、L

連絡先: 090-9313-8789 中野靖久 mail: yasuhsisa46@gmail.com

昼間合同巡回は7月1日より夏休みに入り、10月2日(月)より開始します。

2) 令和5年6月18日～7月15日の巡回実施状況

	昼	夜	
	実施日数	実施日数	延べ参加者
1丁目	3日	4日	11名
2丁目	3日	10日	45名
3丁目	5日	10日	28名
全体	11日	24日	84名

3) 登校時見守り（今月の活動日数は24日間でした）朝の見守りにご協力ください。

今月は「見守り」の1名の方が、都合により1ヶ月間お休みされています。

配置メンバーが足らず2ヶ所受け持つ人が出るかと心配しましたが、アメリカから来られた2人の若い方がお手伝いして下さり、大いに助かりました。お一人は二人の小学生の保護者の方で、もう一人はなんと16才の女子高生です。

「見守り」のお手伝いをして下さったYさん、T.Hさんありがとうございました～。(K.K)

4) 不審車両と区別するステッカーの表示

	11日間			90%を目標にしています。 左に表示のステッカーのない方はご連絡下さい。
	路上駐車台数	ステッカー有数	ステッカー有比率	
1丁目	7台	7台	100%	
2丁目	19台	18台	95%	
3丁目	11台	8台	73%	
全体	37台	33台	89%	



用事が済み次第すぐに移動します
石神台 O丁目 □番地 △号
の ××を基準中
内) これは認可済みではありません

5) ガーディアンの気持ち(7月号)

7月中旬、アメリカのデイトン市からの留学生とホストファミリーの方達にお会いする機会がありました。留学生の方達は、大磯に2週間程滞在されその間に明治記念大磯庭園(ガイド付き)等大磯の名所や近隣の鎌倉等の見物をされるとの事。私がお会いしたのは日本らしさを体験して頂くという事で六所神社にて着物の着付けと生け花をされる時でした。小学生1名を含む女性5名でしたが、全員着物の色柄共にピッタリと合っていて、しかも帯の結び方が各々違っていて華やかなのには驚きました。事前にサイズや年齢はお伝えしてあるにしても、これだけの出来栄えは陰でさえてくれているスタッフの方達のご尽力につきると思いました。今ではすっかり着る機会が減ってしまいましたが、改めて着物の美しさを再確認させて頂いたひと時でした。

(りんごの独りごとさん)より

6) 大磯警察より

令和5年6月16日～7月15日大磯、二宮町内 犯罪発生状況

6/17二宮町山西一般住宅:窃盗(空き巣)家人が外出中、居宅内に侵入されて現金を盗まれたもの。

6/19大磯町高麗:詐欺(オレオレ詐欺)息子を名乗る犯人から「財布をなくした」等の電話を誤信し、息子の部下を名乗る者に現金を渡したもの。

6/23～24二宮町百合が丘1丁目一般住宅:窃盗(オートバイ盗)自宅敷地内にエンジンキーを抜き、ハンドルロックをかけて止めていたオートバイが盗まれたもの。

6/23～24二宮町百合が丘3丁目一般住宅:窃盗(オートバイ盗)上記と同じ手口で盗まれたもの。

6/22～23二宮町中里アパート駐輪場:窃盗(オートバイ盗)駐輪場内で、上記と同じ手口で盗まれたもの。

6/23～24大磯町西小磯アパート駐輪場:窃盗(自転車盗)鍵をかけずに止めていた自転車が盗まれたもの

6/24～25二宮町二宮アパート敷地内:窃盗(自転車盗)上記と同じ内容の手口で盗まれたもの。

6/30大磯町高麗1丁目アパート敷地内:窃盗(自転車盗)上記と同じく鍵を掛けずに自転車を盗まれたもの。

7/10大磯町高麗3丁目店舗敷地内:窃盗(自転車盗)上記と同じく鍵を掛けずに自転車が盗まれたもの。

7/11大磯町大磯アパート駐輪場:上記と同じく鍵を掛けずに止めていた自転車が盗まれたもの。

7/3大磯町西小磯:窃盗(その他の非侵入窃盗)無人販売所で料金箱が壊され、中の現金を盗まれたもの。

7/7大磯町高麗2丁目月極駐車場:窃盗(部品ねらい)駐車場に止めていた車のホイールキャップが盗まれた

※大磯町、二宮町内の高齢者宅に特殊詐欺(オレオレ詐欺)の犯人からの前兆電話(息子や孫、役場職員を騙る電話)が多数掛かってきますので、騙されないよう注意してください！

※家の電話はいつも留守番電話に設定を！

挨拶で犯罪なくそう石神台

石神台ホームページ

<https://ishigamidai.com>

海が見える街 大磯町石神台

検索



大磯警察 生沢駐在所より（ふれあいパトロールたかとり）は：

https://www.police.pref.kanagawa.jp/ps/69ps/69pic/69003_12.pdf



大磯警察 駅前交番だより(おおいそ)は：

https://www.police.pref.kanagawa.jp/ps/69ps/69pic/69003_06.pdf



2023年7月22日

おまけシリーズ

「ガーディアンの気持ち」ならぬ「私の独り旅日記」→第7回

前月(第6回)と同じように昨年JRが鉄道開通150周年の特別記念企画「150周年秋の乗り放題パス」での旅でした。6月号でも書きましたが3日間、新幹線や特急列車を除く全国のJR乗り放題で7,850円のチケットを購入しての旅です。

二宮→会津若松→只見→小出(新潟県)→越後湯沢→水上→高崎→東京→二宮で7,850円はなんといっても格安だと思います。

第1日(10月19日)

今回は福島県なので割と近いこともあり、少しゆっくり家を出て二宮発7時1分の宇都宮行に乗りました。また、いつもと違いは新幹線や特急列車に乗れないゆっくり旅なので乗り換えが宇都宮、黒磯、郡山と多く、会津若松には13時57分に着きました。会津若松と言えばなんといっても鶴ヶ城(会津若松城)と白虎隊で有名な飯盛山ではないでしょうか?大昔に来たところですが、また見学することにしました。

会津若松には山のクラブの先輩がいるので、夕食は先輩に御馳走になる、と図々しくも決めていたので午後5時に会津若松駅で15年ぶり位に先輩に会いました。実はこの先輩には只見での宿も取って頂いたのでした。と言うのも約ひと月前にネットで調べて只見にある旅館と民宿15軒ほどに片端から電話をしたのですが、紅葉のシーズンに入っていて、更に只見線の11年ぶりの全線開通で空前の観光ブームなっていたのでした。私としたことがちょっと甘かったかな?と思いつつも、そうだこういう時こそ先輩に頼もう、先輩なら何とかしてくれるだろう、と勝手の思い先輩に頼むといろいろなつてを頼ってやっと1軒の民宿を取って頂いたのです。流石先輩と感謝でした。その日は市内のビジネスホテルに泊まりました。

第2日(10月20日)

いよいよ只見線で只見へ。(只見線というのは福島県の会津若松から新潟県の小出までです。)1日、3便で朝の1番電車は会津若松発6:08です。朝早いのでさほど混まないと思い、駅に15分ほど前に着くと、なんと小出行きの只見線は満員に近く、座る席

はすぐではなく、只見まで約3時間、立つ覚悟を決めて運転席のすぐ後ろで小学生の子供のように手摺にしがみついていました。出発時には超満員でした。なんと1両だったのです。「11年ぶりの再開、しかも紅葉のシーズンも近いというのにJRは何たるとことか」と思ったのは私だけだろうか？いつ乗り込んできたのか分らなかつたが、福島県内？の60歳台？のおばさん3人組が早くも電車の床に座り込んで、福島弁？で何やら不平タラタラ…。前にもどこかで書いたと思いましたが、私は電車内でMANウォッチング（人間観察）が大好きです。MAN

ウォッチングは見るとは無しに見て、聞くとは無しに聞くのです。

満員電車は会津若松を定時に出発しました。15分程で市内を抜けると、やがて畠や田んぼの田園地帯に、そこを30分ほどで通り過ぎると、いよいよ山の中へ。

そして只見川が山の中を縫うように、紅葉には少し早かったが素晴らしい景色。会津若松から只見駅までは距離約90キロで、駅が28あり、その内、会津坂下、会津川口というように頭に会津という字がつく駅が16駅もありました。

そうそう、例の福島県内から来たであろう？3人のおばさんたちですが、電車が駅に止まる度に満員の乗客をお尻でかき分けて運転席に来て運転手に「お客様をこんなに立てさせてどうするの？」「せっかく11年ぶりに開通したから来てやったのに！」「もう絶対こんな所、来てやらないから！」と福島弁ですごい剣幕。運転手は「私に言われても…」と困惑顔。するとおばさん達は、「そんなら誰に言えばいいの？」「駅長に言えばいいの？」と。そして電車が走り出すと、また床に座り込んで今度は近くの乗客達の誰とはなしに同じ訴えをしていました。私も聞くとはなしに聞いていて、「もっともだ！」「JRの偉いさん達は何を考えているのだ！」と心の中で叫んでいました。

実はこれには後日談があって、その後、11月頃には3両になっていました。
あのおばさんたちの権幕が届いたかな？と思ったのでした。

そんなことで、外の景色とおばさん達の会話のお陰で、3時間立ち通しの旅は疲れたものの、飽きることなく只見駅に。駅の周りは稻刈りを終えた田んぼの中に沢山の「只見線11年ぶりの再開歓迎！」「只見線再開おめでとう！」の案山子や、垂れ幕で地元は盛り上がっていました。「それにしてもJRなんなんだ！」と思ったのは私だけではないはず。

「只見駅周辺の見どころはどこかな？」と駅前の観光地図を見てみても、それらしい所がなく、奥只見のダムや湖はここからでなく、新潟の小出からバスである。
駅前にプレハブの新しい観光案内所兼土産物屋みたいなところがあり、さて、これからどこへ行こうかな？とコーヒーを飲みながら考えていると、近くでなにか？

聞き覚える声がしてきました。それは電車の中ですとクレームをつけていたおばさん達でした。聞いていると「せっかく来たのだからどこか温泉でもないの？」と聞いていました。案内所の職員が「タクシーで30分～40分の所に深沢温泉があります」と。おばさん達は「バスはないの？」と。すると職員が凄いことを説明しだしたのです。

「乗合タクシーですが片道、一人200円で行けます」と説明。すると、おばさんたちの表情が一変して、「それはいい、そこへ行こう」となったのです。

それを聞いていた、私も是非行きたいと思い、勇気を出して「私も一緒にお願ひできますか？」と。すると案内所の人は「いいですよ」と言ってくれ、おばさんたちの了解も得てくれて、深沢温泉まで約40分、おばさん達とタクシー運転手の話が面白くて、私が口を挟む暇はありませんでした。

深沢温泉に着くと、タクシーの運転手は「2時間後にまた、ここに迎えに来ます」とのこと、おばちゃんたちと別れて、私は一人、男性用の露天風呂へ。秋の強い日差しの中で広い露天風を独り占め。私は思わず「ラッキー！」と叫びました。

温泉を出て、別棟にレストランがあり、美味しい手打ちそばを食べました。
この温泉は絶対にまた来ようと思いました。

帰りのタクシーもまた例のおばちゃんたちと一緒に只見駅へ。思い切っておばちゃんたちに「どこから来たのですか？ 電車の中でずいぶん吠えていましたね」と聞くと、福島市内から、「あんたもJRのサービスが悪いと思いませんか？」と聞かれたので、素直に「言われる通りですね。」と答えました。

駅に着いて、少し休んで先輩が予約しておいてくれた民宿へ、駅から30分ほど歩いて着きました。特にどうということのない民宿でしたが、やっと取って頂いた宿でしたので、有難く宿泊した次第です。

宿のおかみさんに、「ここは、あまり観光するところもないようですが、どんなお客様が来るのですか？」聞いてみると、「確かに観光するところはありませんが只見川で川魚（イワナや山女魚）を釣りに来る人が多い」とのことでした。

第3日（10月21日）

今回は3日間の旅でしたので、今日はもう帰ります。只見駅から小出に出て、そこからは上越線で越後湯沢→水上→高崎→東京→大磯と普通電車の長い時間を掛けて帰ります。

ここで思わぬ大失敗をしてしまいました。小出で乗り換えるのですが、昨日の出来事があまりにも面白かったので、電車の中でいろいろな人に昨日の出来事をメールしてい

て、小出駅に近づいて、車内アナウンスで「乗り換えの方は忘れ物等ないように」と言わされたと思いましたが、荷物を持っての乗り換える時に座席に携帯を忘れて降りて、次の電車に乗ってしまいました。また続きのメールをしようとしたら携帯がなかったのです。「しまった！」と思ったが後の祭り。電車が走り出してしまい、次の駅で降りて連絡しようとしたら、そこは無人駅でした。

改札口に行くと、張り紙があり、「御用の方は備え付けの電話でどうぞ」とあり、電話をすると、なかなか繋がらなかつたがやつと繋がり、只見線から小出駅で乗り換える時に電車の中に携帯電話を置き忘れたことを告げたのです。すると携帯電話の形状など細かいことをあれこれ聞かれて、「小出駅に確認しますから、電話を切って暫くお待ちください」と。その暫くが何と長いこと。そんな事なら小出駅まで戻ろうとしましたが、小出行きも1時間以上ないことが分かり、仕方がない、と

覚悟を決めて待つことに。電話機の前で、じっと待っていると本当に暫くしてから、先ほどの駅員から「小出駅に落し物が届いていました」と。それからまた、携帯電話の形態など、同じことを聞かれて、うんざりしましたが、「自分が悪いのだから仕方ない」と諦めて、やつと来た小出行きに乗って小出駅に戻ったのです。

駅の「落とし物預かり所」に行くと、また駅員から携帯電話の形状などを聞かれて、流石に私もうんざりして、もう何回も説明して、「何時頃取りに来ること、と伝えてあるから、分かっているでしょう」と告げると、駅員は「規則ですから」と言い、本人確認の免許証かマイナンバーカードを求められ、最後は受け取り確認書にサインをさせられて終了。ただただ携帯電話があつて戻したことだけが嬉しかったです。

今回の旅はたつたの3日間でしたが只見線の素晴らしい景色や面白い福島弁のおばちゃん達、片道30分、200円の乗り合いタクシー、思いがけずうれしい露天風呂、そして最後は携帯電話の忘れ物（カミさんがいたらさぞかし怒られたことですが）、忘れられない旅になりました。

忘れ物だけは絶対してはいけないと自分に言い聞かせて、予定より4時間も遅れて自宅に帰ってきました。

さて、次はどこへ行こうかな…』と。

(by テツ&ゴン)